

経営比較分析表（令和3年度決算）

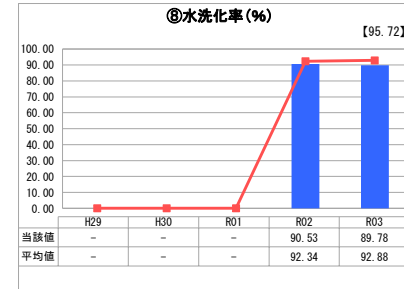
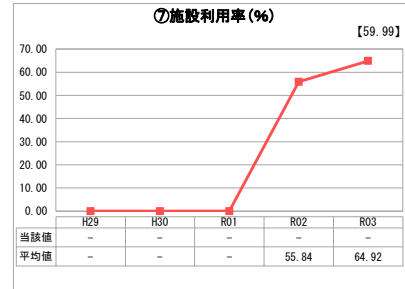
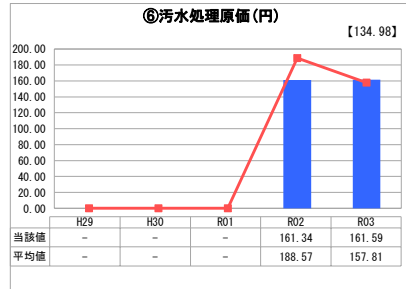
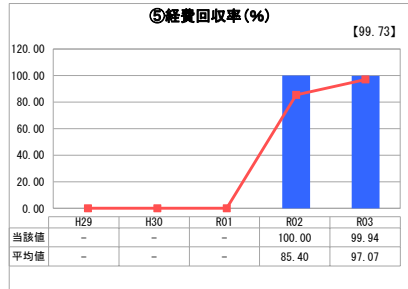
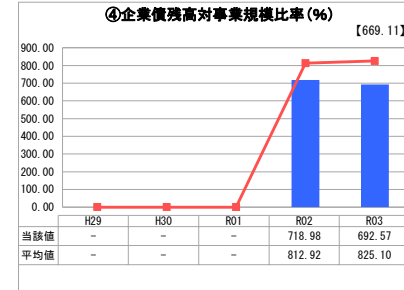
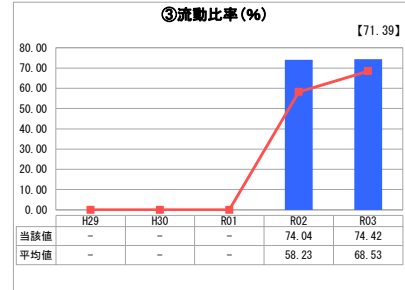
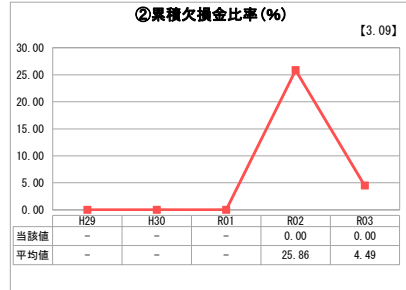
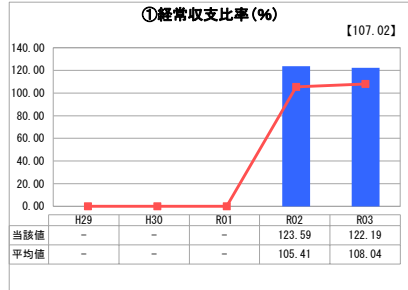
茨城県 那珂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	50.41	56.32	81.15	3,080

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
54,279	97.82	554.89
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
30,470	14.39	2,117.44

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、⑤ 経費回収率
 経常収支比率が100%以上、経費回収率がほぼ100%となっているのは、一般会計からの繰入金をもって、収益的収支を黒字としているためである。今後も引き続き一般会計からの繰入金をもって黒字となる。

③ 流動比率
 主な流動負債である令和4年度企業債償還金は、多くは当該年度に一般会計からの繰入金をもって充てることになり、流動資産である現金の一部を充てることと足りると考えられる。

④ 企業債残高対事業規模比率
 企業債残高については、例年減額する方向の事業規模とし、業務を進めている。

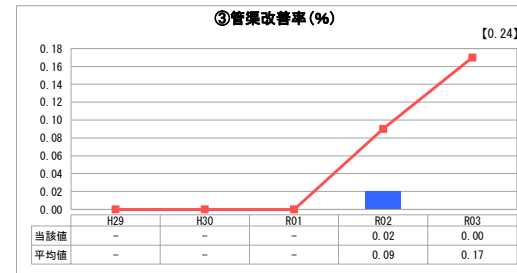
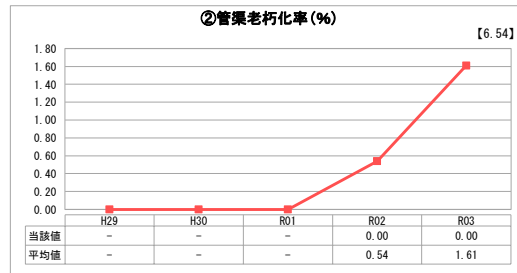
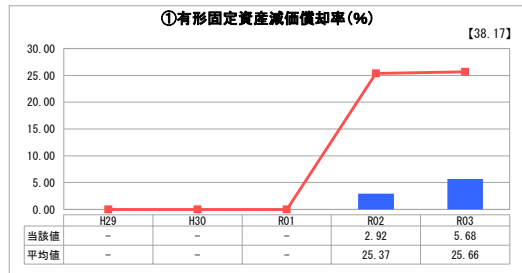
⑥ 汚水処理原価
 すべて流域下水道へ接続しており、効率的な汚水処理が実施されていると言える。有収率の低下がみられるため、不明水対策等を行うことで有収水量の増加を図り、汚水処理の効率化に努めていく。

⑧ 水洗化率
 類似団体平均値を下回っている。今後も未接続世帯に積極的に接続を促し、水洗化率の更なる向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

①、②、③
 法定耐用年数を経過している管渠は無く、法定耐用年数に近い管渠が少ない。
 管渠の老朽化を見据え、今後は、広域化・共同化、長寿命化などを踏まえた、計画的な投資を行っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

主な財源として、下水道使用料のほか、一般会計からの繰入金をもって、運営をしている。
 今後は、接続率の向上に努め使用料収入の増加を図りつつ、費用削減に努めることで、更新投資等に充てる財源となる留保資金を確保し、管渠の更新に備える。
 また、将来にわたって持続的な事業運営を行えるよう、公共下水道事業全体計画の見直しを行い、整備地域を縮小し、整備効率の向上を図る。
 さらには、持続的な事業運営を行えるよう、令和4年度に経営戦略を策定する。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。